

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

4-I-12

4-I-12

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	上越新幹線・北陸新幹線を活用したアクセスルートの周知・利用拡大
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	12 広域アクセスルートの広報促進	事業主体	県観光企画課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	北陸信越運輸局、佐渡地域振興局企画振興部、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、佐渡市観光振興課、県観光協会、佐渡観光交流機構、佐渡汽船株
事業概要	<p>【事業目的】 ○ 上越新幹線と北陸新幹線を活用した周遊ルートの周知・利用拡大を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 首都圏・関西圏から佐渡までのアクセスルートについて、パンフレット、チラシ、ホームページ等での情報提供のほか、旅行代理店へのアプローチを行う。</p>		
③〇事業計画と実績	<p>【30年度計画】 ● 旅行エージェントや交通事業者を対象とした観光商談会、旅行エージェント招聘の実施 ● JR西日本と連携した情報発信、旅行商品の販売促進 ● デスティネーションキャンペーン(DC)を契機とした佐渡観光PR</p> <p>【30年度実績】 ○観光商談会を首都圏・関西圏で各2回実施、佐渡への旅行エージェント招聘を9月に実施した。結果、佐渡フリープランの造成、販売がされた。 ○JR西日本「北陸信越トリップ」内に特設サイトを開設、雑誌「SAVVY」への掲載、関西主要駅にて交通広告を実施した。 また、関西の大学を対象とした現地研修「新潟カレッジ」を開催し、佐渡でツアーの体験を行った。 ○DCの佐渡エリアのコンセプトを「佐州と公家文化、そして金銀山がもたらした島文化」とし、全国宣伝販売促進会議にて旅行エージェントに向けての情報発信、及び佐渡金銀山を含むコース視察を実施した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■周遊ルートの周知拡大を図るため、引き続き島内、対岸市を含めた周遊ルートの魅力向上を図り、情報発信をしていくことが必要である。</p> <p>【今後の取組】 ■令和元年のDC本番に向け、首都圏旅行エージェント等への情報提供及びJR西日本との連携を中心に関西圏からの旅行商品の造成、販促等を行い、周遊ルートの周知拡大を図る。 ■令和2年度以降も引き続き、交通事業者と連携し、周知拡大を図る。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [ a・<b>b</b>・c ]</p> <p>◇イベントの開催、旅行商品の販売促進により、周知、利用拡大を図ることができた。 ◇旅行エージェント招聘の結果、佐渡フリープランの造成、販売がされた。 ◇広域アクセスルートの魅力向上を図り、旅行エージェントへのアプローチや情報発信強化に取り組んで行く。</p> <p>【事業実施の効果】 [ a・<b>b</b>・c ]</p> <p>【総合評価】 [ A・<b>B</b>・C ]</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。